

酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 3ポリシー・教育課程・養成する人材像の関連図

アドミッション・ポリシー (AP)

(AP-1)
・地球上の生命を育む地球環境システム全般に関心を抱く人

(AP-2)
・発展を続ける人間社会と地球を構成する自然界の生命およびそれを育む環境との調和と共生を実現するための学びである環境学の専門家として、持続可能な社会の発展に貢献しようという意欲を持つ人

(AP-3)
・他者とのコミュニケーションの基礎となる高い言語的能力や論理的思考力を有する人

(AP-4)
・多様な人々と協働して主体的に学修する人

カリキュラム・ポリシー (CP)

(CP-1)
1. 本学の教育理念の理解を深める目的から酪農学園導入教育ならびに学群専門導入科目を置く。

(CP-2)
2. 大学での学びを円滑に進めるための基礎学力と社会人としての基礎力を身につける科目群として基礎教育科目（人文社会科学教育、自然科学教育、情報教育、キャリア教育など）を置く。

(CP-3)
3. 「農・食・環境」を広く学ぶ科目群として学群専門教育科目を置く。

(CP-4)
4. 専門性を高めるための科目群として学群専門教育（野生動物学領域科目、地球環境学領域科目など）を置く。

(CP-5)
5. 分野を超えた探究心に対応するために全学共通教育科目を置く。

	教 育 課 程								
	1年		2年		3年		4年		
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
酪農学園導入教育	基礎演習 キリスト教I	キリスト教II							
共通教育	人文社会科学教育	心理学 日本史 地理学 日本国憲法 経済学	哲学 文学 社会学 世界史 法学	キリスト教と諸宗教			キリスト教と生命倫理		
	自然科学教育	数学I 化学 化学実験 物理学	数学II 生物学 生物学実験 地学	統計学I 物理学実験	統計学II 地学実験				
	保健体育教育	体育実技I	体育実技II						
	情報教育	情報処理基礎演習	情報科学の基礎	情報処理演習					
	外国語教育	英語I 日本語I (※留学生科目)	英語II 日本語II (※留学生科目)	英語III 中国語I ハングルI	英語IV 中国語II ハングルII	外国語演習I	外国語演習II		
	キャリア教育	キャリア実習	キャリアベーシック			キャリアデザインI	キャリアデザインII		
	全学共通教育	全学共通科目A	全学共通科目B	学外農場実習		博物館実習			
	学群専門導入教育	健士健民・農食環境学入門実習	建学の精神と農食環境学概論						
	学群専門教育	A群				国際法 ボランティア活動・NPO・NGO論	国際経済論 地域計画論		
		B群			物質化学A 物質化学B 生化学I 土壌学	生化学II 資源リサイクルと環境保全	再生可能エネルギー入門 バイオマス技術入門 プログラミング入門	機械学習入門	
環境共生専門教育	専門演習				専門ゼミナールI	専門ゼミナールII	卒業研究I 研究発表	卒業研究II	
	専門科目	環境共生学概論 GISリモートセンシング基礎	野生動物学の基礎 地球環境科学の基礎 GIS基礎演習	自然環境実験実習I アジア環境学 保全生物学 生物分類学 生物地球化学 植物生態学 気象学の基礎 GIS応用演習 リモートセンシング基礎演習	自然環境実験実習II 動物生態学 海外自然環境実習	環境共生学外実習 植生保全学 生息地保全管理論 統計データ分析演習	環境共生学演習I 環境共生学演習II	動物園・水族館学	
	応用科目	野生動物学領域 地球環境学領域		クマ学 狩猟学 進化学	野生鳥獣管理学 野生動物と社会 フィールド調査分析法 野生動物観察実習 野生動物保全技術実習I	野生動物と社会 フィールド調査分析法 野生動物保全技術実習II	鳥獣行政論 野生動物保全技術実習II		
				地球惑星科学 自然環境保全と地球温暖化	水圏環境化学 気象・気候学 水圏・地圏総合実習 生命環境学実験実習I	水圏環境化学 気象・気候学 水圏・地圏総合実習 生命環境学実験実習II	森林環境学 火山と資源		

※必修科目 ※野生動物学領域要修得科目 ※地球環境学領域要修得科目

教職課程教育	教職入門 教育原理 教育心理学	特別支援教育論 教育方法・ICT活用論 生徒・進路指導論	教育課程論 教育相談論	特別活動論 理科教育法I	理科教育法II 教育社会学 総合的学習の時間の指導法 道徳教育指導論	理科教育法III 教育実習（中・高1免） 教育実習（高1免）	理科教育法IV 教職実践演習（中・高1免）
--------	-----------------------	------------------------------------	----------------	-----------------	---	--------------------------------------	--------------------------

ディプロマ・ポリシー (DP)

(DP-1)
1. 建学の精神である「三愛精神」「健士健民」を基に、人文・社会・自然科学の知識と倫理観を養い、多様な価値観を尊重し、持続可能な社会の実現に貢献できる。

(DP-2)
2. 野生動物や地球環境に関する様々な現象や問題についての専門知識を有する。

(DP-3)
3. 人と自然が共生する持続可能な社会を実現するための技術と実践力を有する。

(DP-4)
4. 環境問題の課題解決に向けた自らの目標を定め、主体的に取り組むことができる。

(DP-5)
5. グローカルな視点を有し、多様性のある文化や社会の実現に取り組むことができる。

(DP-6)
6. 環境問題に対する自らの考えや判断の根拠を説明するためのプレゼンテーション及びコミュニケーション能力を有する。

養成する人材像

環境共生学類は、環境に関する基礎科学の学びと実践的な学びを通して、現象を客観的に解析する技術や知識を修得するとともに、問題解決に向けた総合的な判断力を培い、自然と人が調和・共生する社会の形成に貢献できる人材を養成する。